

高浜原発プルサーマルSTOPを求める活動報告 秋～12月

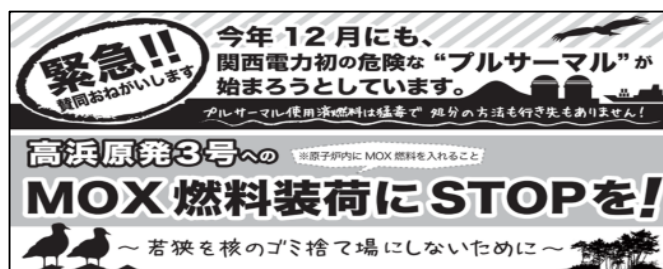
多くの問題点を無視したままプルサーマルが強行されていますが、一方でその問題点の認識と不安が高浜町でも関西でも広がっています。高浜町民が使用済MOX燃料問題や玄海原発プルサーマル炉放射能漏れを不安に語った記事が、福井新聞などで出ました。

これは、この間の「知らされない」問題をみんなで知り、みんなで知らせてきた成果です。関電交渉で確認した問題点やプルサーマルを急ぐ必要はないと福井県庁へ7回、高浜町役場へ4回要望を伝えてきました。そして福島瑞穂議員レクの形で保安院と交渉も行いました。

また高浜町へは5種類のチラシを合計9回配布しました。みんなで取り組んだ緊急要望書への個人賛同集め・知事へのメール・JAROへの苦情申立・起動抗議ビラまきなどは、プルサーマルの矛盾に対する思いが多くの人にひろがっていることの表れです。市民一人ひとりが集まれば、大きな力になることを実感したこの間でした。以下に簡単に紹介します。

【署名を通じた広がり】

高浜原発3号機へのMOX燃料装荷を認めないよう求める緊急要望書への賛同署名を呼びかけました。署名用紙のデザインに感激！ ネットや職場、母親仲間等々を通じ、関西と福井限定にもかかわらず、わずか約2週間で3344名も個人賛同が集まりました。



プルサーマルの個人賛同集め in 滋賀

「暮らしを考える会」 M

今回の短期間の署名集め、MLで大阪や京都でのイベント会場や街頭での皆さんの一生懸命の活動を読むたび、一緒にやれる仲間がいて羨ましい限りでした。滋賀でも一緒に上映会や学習会をした仲間はいますが、こういう活動を一緒に、というのはなかなか広がりません。私は、週1配送&店舗販売を主婦3人でやっている自然食品店で働いているため平日は全く動けません。できることは、私が関わっているMLやお母さんグループに呼びかけたり、店に署名用紙を置いたり、週1配送でお届けする注文書の表紙は商品やイベント、食、環境、医療…など情報を載せますが、そこで呼びかけ文を載せて署名用紙を挟み込むくらいです。(土)(日)は署名用紙をカバンに潜ませ出先で呼びかけました。Wさんは「あんたそんなことしてんの。がんばりや。料理教室でも呼びかけや。」と励ましてくださり、西谷文和さんのイラクの報告会では劣化ウラン弾の話から原発、プルサーマルまで触れられて会場の人々がそれを知ってくださりうれしかったです。ただ残念なことに1人ではその会場の人皆さんに署名をお願いするのは無理でした。西谷さんにはもちろんもらいましたよ。

今回の署名活動ですが、なんとこの活動をきっかけに滋賀でもう1人「関西ストップ六ヶ所」のMLメンバーができました。あるMLでの呼びかけにすぐさま反応してくださり、また県知事にfaxを送ってくださったTさん。Tさんはパキスタンの支援活動をされており、その活動の一端でパキスタンの料理教室&お話をうちの店でしましたが、それがこの9月の出来事で、それ以来のおつきあいになります。お店にもちょこちょこ顔を出してくださり情報交換もできるように。Tさんはブログもされ、そのネットワークを活かしてかなり広範囲にわたって情報発信をしてくださいます。力強い限りです。今回の署名集めでもらえた思わぬプレゼント、新しいつながり。これからもできることを地道にやっていきます。

【プールの臨界問題】

関電交渉で使用済燃料プールが臨界を起こさないための評価基準問題が発覚。福井県と高浜町に問題を説明。県は関電に、高浜町は国に説明を求めました。関電は資料を提出しないまま、12月1日に高浜原発へのMOX燃料装荷と起動のスケジュールを発表。その後関電は資料を提出し説明会を行いました、市民の疑問に答えることは出来ませんでした。

【玄海原発プルサーマル炉放射能漏れの調査】

MOX燃料から放射能漏れが起きている可能性が否定できない状況で高浜プルサーマルの起動はやめると申し入れ。県は「漏えいを防止するよう求める」とし、関電は「監視を強化」すると言いました。市民から福井県に電話やFAXが殺到し、知事宛メッセージは公開分だけで120通以上も送られました。その中で12月22日の起動が強行されました。

【高浜町へ 戸別訪問・ポスティング】

戸別訪問では使用済MOX燃料の問題について町に問い合わせたり、近所で話してみてください、と呼びかけまし

た。会話の中で使用済MOX燃料について知らされていなかった（「青森に運ぶと思っていた」の声）ことがわかりました。そのことを知らせるポスティングはみんなの協力で9割出来ました。次に玄海原発プルサーマル炉の放射能漏れいで原子炉を停止し調査することを知らせるポスティングを行い、それぞれ表立って口に出せない不安や心配を実は多くの人を持っていることを伝えるポスティングを行いました。12月21日にも「青森へ行くんちゃうの」と驚かれました。

【12月15日や16日の戸別訪問に参加された方から】

プルサーマルの運転に入っていた九電・玄海原発で放射能漏れがあり、ストップしている。原因がまだ分かっていない。原因が分かるまでは、同じプルサーマルを予定している高浜3号での運転を見合わせるように役場に電話して欲しい。


これに対し、反発する人はいなかった。「電話すればいいのですね」「がんばってください」とほとんどの人が好意的な反応だった。何人かの方は、日頃の思いを熱く切実に語ってくれた。役所への不満を言われる時、こちらが怒られているように感じるくらいだった。（T）

15日の戸別訪問に参加しました。「反対なんや、でも今更なにいうてもなあ……。町に何をいってもダメや……。わたしらも心配なんやけど、難しいことわからんし……。」そんな方々には、関西でも何十年もあきらめず活動しています、毎月関電と話をしている人たちもいます、町に訴えるのは、やっぱり町の人が一番なんです、と伝えると、「そうや。」と応えてくださいました。

ある事務所で対応して下さった女性は、町が決めたことに自分たちはなにも言う事は無い……という受け入れ姿勢でしたが、その上で、放射能が漏れても仕方がないと……？との問いかけには、（当たり前だけど）ハッとしてちょっとあわてた素振りでした。（あくまでも、やんわり、穏やかに会話しています）

12月22日の高浜3号機プルサーマルを急ぐ必要はありません
プルサーマルの使用済燃料は、青森に運ばせん
原発が閉鎖になっても、高浜町に居座り続けます

今がとて大事な時です
高浜町の将来は皆さん一人ひとりの手で町と県に伝えましょう！



そして、印象強かったのは、いくらしがらんでいても、それを受け入れても、放射能はNO! 放射能はイヤだ!たとえ微量でも!との本心を感じた事。

なんだか今回は不思議な感じでした。あら、また、来はったん? (親しみをもって)

そんな、気、を何度も感じたのは気のせいかしら。前回高浜の戸配をしたときとは、なにか違う。平日のお昼で、お留守のお宅も多く、年配の方がほとんど。そのせいかもしれないけれど・・・。行政や電力会社からの情報がないなか、高浜も、高浜の人も、働いている人も、そして町外の自分たちもみんな、ヒバクしたらいかんのです。というメッセージとともに本当の情報を伝えるために、県や町への働きかけ、そして町内を駆け回る、そんな行動が生きているなあと、感じた訪問でした。 (CK/40代 主婦)



私の回った一番海側の地区は、その昔、きっと漁師町でにぎわったことと思われる家並みですが、今は空き家も多く、住んでいらっしゃるの、足を引きずって少しの段差を降りるのも難儀な様子のご高齢の方がほとんどでした。「20年位前ならいろいろ考えたけど、こう歳をとったらもう何もわからん・・・」との声。

使用済みMOX燃料の行き場がないことにも驚かれていた60代の女性などは県への電話も抵抗がないようでした。

ご家族が関電関連会社勤務のお宅で、ビラを受け取って下さった方は「実家が玄海なんですよ」とのこと。その様子からは、言葉にはできないけれど通じ合えるものを感じられました。最後に海岸に出ましたが、息がしにくくなるくらい一気に海風が強くなり、波しぶきが白い煙のように見える日本海が美しかったです。海水浴場でもある砂浜、海、山、そこに大きな鉄塔数本と太いケーブル…。その先には山に隠れて見えない高浜原発があるのだなあーと思うと複雑な気分になります。とにかく現地足を運ぶことで感じるものがたくさんあります。

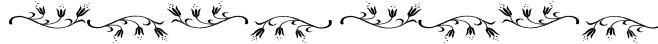
後日、他の地区を回られた方の報告で「せめて避難道を作ってほしい」との言葉を読み、愕然とし、お会いしたご高齢の方々のお顔や様子が浮かびました。「どうやって避難されるのだろう・・・。」と思うと、私たちの日常と見た目には変わらない「現地」の日常が、全く違う土台の上にあるという状況がぐっと迫ってきました。(実は、事故があれば私たちも同じなのですが・・・) (京都/S)



【プルサーマルSTOP行動 関西のみんなとともに】

- ・ 11月25日・26日に緊急要望書を福井県と高浜町に提出、など
- ・ 学習討論会(10月11日、12月12日)を通じて、それぞれ福井からのゲストを招き、顔が見える関係を強めた。そこで提起された福井県への電話・FAX行動や高浜町へのポスティング・JAROへ苦情申し立てなどを行う。
- ・ 12月2日、関電本店前で抗議行動 約25名参加。
- ・ 12月12日～、市民が福井県へFAXや電話、知事宛メールは121件!全国からも集まる。
- ・ 12月22日の起動に抗議!
- JAROへ89名で苦情申し立て (p11)
 - ・ 抗議声明 ・ 大阪市内で抗議の街頭ビラまき(23日)
- ・ 12月25日、県民会議主催の高浜原発ゲート前抗議行動に参加。

この間の活動



9月	高浜3号プルサーマルに反対するリーフ作成
27日	関電交渉
29日	・高浜町役場へ要望書提出：MOX燃料の装荷を認めないで（3団体） ・高浜町へ初の戸別訪問（リーフ）
10月5日	六ヶ所再処理工場を動かさないよう求める経産省交渉
11日	学習・討論会「プルサーマルの暴走をくい止めよう」
14日	高浜町戸別訪問（リーフ）
26日	六ヶ所再処理工場 再処理ワーキンググループへの要望書提出
27・30日	高浜町へポスティング（新聞折込チラシ分）
11月7～24日	MOX装荷STOP緊急要望書への個人賛同集め
18日	関電交渉
20日	福井県と福井県原子力安全専門委員会へ要望書提出
25日	3344名の個人賛同を携え福井県庁へMOX装荷STOP緊急要望書11団体で提出
26日	・3344名の個人賛同を携え高浜町役場へ緊急要望書を11団体で提出 ・原子力安全・保安院へ質問書を提出
29日	福島瑞穂議員への原子力安全・保安院レクに参加
30日	・福井県庁と高浜町役場へ要望書を提出：「MOX燃料の装荷を認めないで」 ・関電へ要請書を提出
12月2日	高浜3号へのMOX装荷発表に対する関電本店前抗議行動
6日	福井県知事及び福井県原子力安全専門委員会へ再要望書を提出
8日	高浜町へ戸別訪問
9日	関電からプール臨界問題について説明を受ける（関電本店にて）
12日	学習・討論会「関電プルサーマルにNO！」
12日～	関西を中心に全国から福井県へ電話・FAX・メールを発信
13日	高浜3・4号機使用済燃料ピットの臨界性に関する見解を出す
14～22日	当会ホームページから知事宛メール開設
15日	福井県へ緊急要望書を14団体で提出「プルサーマル起動を認めないで」
15・16日	・高浜町戸別訪問（玄海プルサーマル炉で燃料から放射能漏れ） ・高浜町役場へ緊急要望書を14団体で提出
18日	福井県知事及び福井県原子力安全専門委員会へ再々要望書を提出
20日	福井県への緊急質問・要望書を提出 「プルサーマル炉の起動を認めないよう再度要望します」
20・21日	高浜町ポスティング（心配しているのはあなただけではない） p19・20
22日	・抗議行動：89名でJAROへ苦情申し立て 関電の宣伝は誇大で虚偽 ・高浜3号プルサーマルの起動に対する抗議声明を出す
23日	抗議行動：大阪市内で街頭ビラまき
25日	県民会議呼びかけの高浜原発ゲート前抗議行動に参加

*これらの活動は、グリーン・アクションをはじめ福井・関西の皆さんと共に行いました。